# 一般質問
## 市政のここを問う

この定例会では、９月２日から４日までの３日間で、16人が登壇し、35項目にわたり、市政全般についてただす一般質問が行われました。

一人一項目を要約し、掲載します。

### 一般質問項目（発言順）

※印が掲載した項目です。

神谷　昌宏　議員
※１　２　銀座ＡＢ地区の再開発について
　　中小企業振興基本条例について

新海　真規　議員
※１　２　市民スポーツの推進について
　　災害時要援護者への対応について

鈴木　絹男　議員
※１　２　市長の施政重点事項について
　　Ｇ空間×ＩＣＴについて

松永　寿　議員
１　２　児童生徒にかかわる事柄における対応について
　　刈谷市の選挙について
※３　高齢者の買い物の支援について

鈴木　浩二　議員
１　室内スポーツ施設の熱中症予防に向けた空調利用について
※２　指定管理者制度を活用した行政サービスの質の向上について

新村　健治　議員
※１　刈谷ハイウェイオアシスの駐車場等拡張計画について
　　介護保険制度の現況と課題について
３　有害鳥被害対策について

山内　智彦　議員
※１　自転車の交通安全について

佐原　充恭　議員
※１　元気なシニアが生涯現役で活躍できるまちづくりについて

稲垣　雅弘　議員
※１　時代の変化に対応した刈谷市の新たなプラットホームづくりについて

星野　雅春　議員
※２　市長の政治姿勢と政治課題について
　　南部地区の街づくりについて

野村　武文　議員
※１　小型バスの導入について
　　フタ掛け側溝の促進について
３　高齢者の貧困について

上田　哉　議員
※１　刈谷市の子供たちの未来について
２　刈谷市民の安全について

白土　美恵子　議員
１　ふるさと納税について
　　高齢者肺炎球菌ワクチンについて
２　ロタウイルスワクチンについて

加藤　賢次　議員
※３　市有財産の有効活用について
２　老人クラブ・敬老会について
１　児童・生徒を犯罪から守る施策について

中嶋　祥元　議員
※１　刈谷市のスポーツ振興について

山本　シモ子　議員
２　幼稚園児、児童生徒のアレルギー対応給食の改善について
３　「住宅は福祉」の役割堅持の市営住宅増設について
４　刈谷城築城の是非について

**一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。**
「刈谷市議会」で検索し、**「議会映像をみる」**をクリックしてください。

### 神谷　昌宏　議員
**市駅・亀城公園一体がにぎわいあるまちになるための計画を**
**―住民の声を聴き、にぎわい再生のために事業を推進していく―**
（主な答弁者・・・都市整備部長）

**問**　住民有志が銀座ＡＢ地区の整備計画変更を求める要望を市に提出したと聞いているが。

**答**　高層マンションによる風、日陰の影響、景観の調和や車両の動線変化による交通安全面・排ガスの影響、そのほか緊急車両の動線などに対する不安を解消してほしいというものである。

**問**　地域住民等の意見交換の場でもある中部・東部地区住民まちづくり協議会においても同様の要望が出ていると思うが、どう対応していくのか。

**答**　高層マンションについては、シミュレーションの結果から、風や日陰の影響が大きくでないこと、交通対策については、警察等と協議を進めていくことなど、住民に対して、丁寧に説明をし、地域住民の理解が得られるよう努めていく。

**問**　住民の声を聴く中で、プロポーザルにより決定した計画案を変更することは可能か。

**答**　ランドマークとなり得る施設、歴史を感じさせるデザイン、土地の一体的な利用などの基本コンセプトについては遵守する必要があると考えている。

### 新海　真規　議員
**プロバスケットボールチームのホームタウンとしての支援は**
**―各チーム、他のホームタウン自治体の動向等を注視―**
（主な答弁者・・・生涯学習部長）

**問**　ホームタウンパートナーであるアイシンシーホース三河が、来年秋に開幕するプロバスケットボールの１部リーグへの参加を表明しているが、プロ化にはホームタウンの決定、ホームアリーナの確保等、多くの条件がある。市はホームタウンとしての支援文書を提出しているが、どのような支援を行うのか。

**答**　ウィングアリーナ刈谷をホームアリーナとして使用を許可し、ゲームの運営に協力することを想定している。

**問**　ホームアリーナは５千人以上の観客収容力が必要とのことだが、ウィングアリーナはその収容力がないため、平成30年のシーズン開幕までに建設に向けて着工しなければならない。

　民間企業に所属するチームのプロ化に対して血税をもって多額の支援をするようなことは断じて許されないと考えている。アリーナの建設に対し、市として協力していく考えがあるのか。

**答**　今後の新リーグや各チーム及びホームタウンとなっている他自治体の動向を注視していきたい。

### 鈴木　絹男　議員
**市民生活の安心・安全のための施策の推進を**
**―小中学校への空調設備の設置をはじめ積極的に施策を推進していく―**
（主な答弁者・・・市長）

**問**　市政３期目のスタートにあたり、市長は市政を重点的に推進していく項目（施政重点事項）を数多く掲げられているが、この施政重点事項に込めた思いや考えはどのようなものか。

**答**　新たに44項目のマニフェストを掲げている。この重点事項44項目には２つの思い・考えがある。１つ目は、市民生活の安心・安全を第一優先に、市民の皆様が刈谷に「住み続けたい」「住んでよかった」と住みやすさを実感できるまちの実現であり、「現在を生きる市民を大切にしたい」という思い。２つ目は、これから50年先、１００年先と時代の先を見通す視点を大切に、将来にわたり持続可能で発展を続けるまちの実現であり、「未来を生きる市民を大切にしたい」という思いである。

**問**　施政重点事項の中で、早速取り組むものはあるか。

**答**　積極的に推進すべきものとして、小中学校の普通教室等に空調設備を設置するための調査及び設計に関する経費を、この９月議会に補正予算として上程している。

### 松永　寿　議員
**高齢者の生活を安心安全なものとするための新たな生活支援策を**
**―移動販売をはじめとした新たな高齢者支援策を検討していく―**
（主な答弁者・・・長寿保険部長）

**問**　高齢者が外出する際の補助にはどういったものがあるか。

**答**　要介護認定で要支援２または要介護１以上と判定された、日常生活に支援を要する市民税非課税世帯に属する高齢者に、タクシー料金の一部を助成し買い物などの外出支援をしている。

**問**　店に出向かずに在宅で買い物をする方法はあるか。

**答**　大型スーパーなどでは、電話、ＦＡＸまたはインターネットにより、店に出向かなくても買い物できるようになっている。

**問**　民間事業者でも高齢者への応援策を実施していただいているが、高齢者にはハードルが高い。新たな方策の実施は。

**答**　高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を進めている。この中で、ボランティアや協同組合、民間企業など多様な事業主体と協働し、高齢者の方が自宅近くで買い物ができる移動販売をはじめ、食材配達、外出支援などを行う仕組みを検討している。

高齢者が安心して暮らせる環境整備を

### 鈴木　浩二　議員
**指定管理者制度を活用した行政サービスの向上にむけて**
**―指定管理の評価に係る取り組みの強化を推進―**
（主な答弁者・・・企画財政部長）

**問**　26年度の企画政策課の組織重点目標に「指定管理者の評価及び課題の整理等を行い、再指定の考え方を示す」とされていたが評価はどうであったか。

**答**　法令等の遵守、適正なサービスの提供、運営状況、施設の利用状況、管理経費等の収支状況、自主事業の実施状況、施設の維持管理状況、保守管理の実施状況などの各項目について、Ａ～Ｄの４段階で、総合的に評価を行い、各施設すべての項目においてＢ評価（協定書、仕様書に定める内容どおりの評価）以上の結果であった。

**問**　県のモニタリング調査書の様に、評価項目の数を増やし具体化、評価ランクを４段階から５段階にするなど、評価の精度ＵＰが図れる調査書を市で作る事が必要であると考えるが、まず、評価の透明性を確保するため、評価結果や市の改善要望などを公表することへの見解は。

**答**　施設の性格によって、モニタリング内容も変わるため、統一的な公表手法の確立は難しいかもしれないが、一定のルールを作成して公表していきたい。

### 新村　健治　議員
**ハイウェイオアシスの整備は、事業者にも応分な事業費負担を**
**―都市公園としての駐車場整備に負担を求める考えはない―**
（主な答弁者・・・都市整備部長）

**問**　刈谷ハイウェイオアシスの駐車場等拡張計画について、事業費の内訳は。

**答**　土地購入費及び物件補償費が約９億円、駐車場と歩道橋の整備工事費が約８億円である。

**問**　刈谷ハイウェイオアシスは全国でも第３位の集客率である。特に産直の駐車場は人気があるが大渋滞を起こしており、地元の人が通り抜けするのも大変である。多額な事業費を投入しても渋滞が解消されるとは思えないがどう考えているか。

**答**　駐車場整備による駐車可能台数の増加や、公園出入り口の交差点に歩道橋や信号機を設置することにより、駐車場への出入りが安全かつ円滑となり、渋滞緩和に繋がると考えている。

**問**　市は、事業者との官民協働による事業費負担の仕組みを作る必要がある。刈谷ハイウェイオアシス株式会社にも応分の負担を求めるべきだが、駐車場整備が完了した際、同社から借地料を取る考えはあるか。

**答**　駐車場は本市の都市公園として整備するものであり、負担を求める考えはない。

### 山内　智彦　議員
**自転車事故低減のために実効性ある対策を**
**―交通ルールと実態の乖離を把握し、交通事故の低減に努める―**
（主な答弁者・・・市民活動部長）

**問**　本年６月１日施行の道路交通法改正の背景は何か。

**答**　自転車を運転する者が主に被害者となる自動車との事故と、主に加害者となる歩行者との事故の両方が増加傾向であることが背景となっている。

**問**　法整備は国、交通規制は県、という構図の中で、交通安全に関する市の役割をどう捉えているのか。

**答**　警察と協力し市民の交通安全意識向上を図るとともに、安全に通行できる環境を整備することである。

**問**　自転車は基本、車道走行となっているが、桜町交差点は危険と感じる。ルール通りの二段階右折をしようにも自転車の滞留場所が全くない。この交差点を自転車横断不可とするべき等、市は実態を詳細に把握できる立場として、ルールと実態が乖離する点を国や県へ発信し、対策に結び付けないと事故は減らないのではないか。

**答**　歩行者、自転車、自動車それぞれの視点で状況の把握をし、交通事故低減に努めていきたい。

桜町の交差点

### 佐原　充恭　議員
**元気なシニアが生涯現役で活躍できるまちづくりを**
**―高齢者が地域で活躍できる場の拡大に努める―**
（主な答弁者・・・長寿保険部長）

**問**　シルバー人材センターのさらなる活性化について、どう考え、どう連携をしていくのか。

**答**　シルバー人材センターが介護保険の新しい総合事業のサービスを提供する担い手として、高齢者の社会参加や生きがい、介護予防、健康づくりを推進してもらえるよう連携を図りながら、高齢者が地域で活躍できる場の拡大に努めていく。

**問**　元気なシニアの力を活用し、商工業者業務改善支援事業からさらに一歩踏み込み、中小企業の経営全般を支援していく新たな施策は考えているか。

**答**　企業ニーズを的確に捉え必要な施策を講じるためには、市と企業との連携を強化する必要があり、専門的知識や実務経験が豊富な企業ＯＢを活用する施策を検討していきたいと考えている。

**問**　今後、元気で経験豊かなシニアの採用には、年齢制限の変更が必要ではないか。

**答**　特殊性、専門性を必要とする職務においては、必要に応じて65歳を超える方の能力を活用していきたいと考えている。

### 稲垣　雅弘　議員
**時代の変化に対応した新たなプラットホームづくりを**
**―生涯学習のコーディネーター役としての役割を担っていく―**
（主な答弁者・・・生涯学習部長）

**問**　これからの総合型地域スポーツクラブの方向性や後継者の育成をどのように考えているのか。

**答**　地域のスポーツ振興だけでなく、スポーツを通じて世代間交流や地域コミュニティーの形成に寄与しているため、引き続き各クラブが主体的な運営をできるよう支援していきたい。

**問**　教育基本法の改正の中に、「生涯学習の理念」が出てきたが、その理念をどう理解し、市政のプラットホームづくりにどのように反映していくのか。また、今後の行政の役割についてはどのように考えているのか。

**答**　教育基本法の理念に基づき、本市では生涯学習担当部局のみならず、行政全体で市民と生涯学習の推進に取り組んできた。これにより生涯学習の理念が浸透し、生涯学習の視点を持ち、施策を推進している。

　行政はこれまで生涯学習のリード役を担ってきたが、今後はコーディネーター役として、市民の自主的な活動につなげる役割や活動を支援する役割を担っていくべきであると考えている。

### 星野　雅春　議員
**南部地区の市街化の将来像を提示し、住民に十分な説明を**
**―影響する営農者等に協力が得られるよう、必要性を説明―**
（主な答弁者・・・都市整備部長）

**問**　国道419号沿いの高浜側は、市街化区域で店舗等があるが、一歩刈谷に入ると市街化調整区域のため物流施設の倉庫ばかりで、市民の一部から殺伐としているとの声がある。419号沿いのまちづくりについてどのような見解を持っているか。

**答**　地域特性を活かし、産業集積や住宅地の創出、農地の保全を図るなどそれぞれの区域を都市計画マスタープランに位置づけることで、計画的にまちづくりを進めたい。

**問**　依佐美地区の市街地拡大計画は、東京ドーム約17個分の工業団地や住宅用地を開発するものだが、優良農地がなくなるため、反対を明確にしている人もいる。営農者との合意形成をどのように図っていくのか。

**答**　この計画を活発な産業活動を支える施策とすることが重要と考えている。施工区域の位置や規模などを具体的に定め、事業実施のめどがある程度ついた時期に、事業実施に影響する農業関係者の方々などに事業の必要性を説明し、協力が得られるよう取り組んでいきたい。

### 野村　武文　議員
**公共施設連絡バスに小型バスの導入を**
**―安全性を確保しながらバスの利便性の向上に努める―**
（主な答弁者・・・都市整備部長）

**問**　現在バス停が設置されている町はいくつあるか。

**答**　居住実態のある79町のうち、55町にバス停があり、利用圏域を考慮すると72町が網羅されている。

**問**　現在のバスでは物理的に入ることのできない狭い道路への小型バスの導入について市はどのように考えているか。

**答**　車両幅の大小の問題ではなく、安全性確保の観点から困難であると考えている。

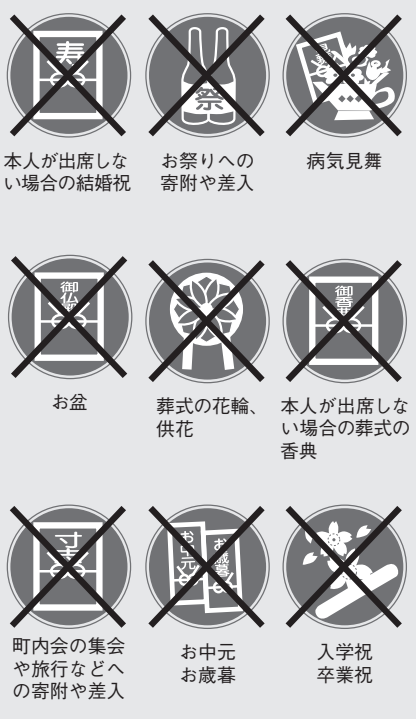
**問**　安全性確保の観点から困難とは具体的にどういうことか。

**答**　道路の見通しが利かないなどで、子どもの飛び出しや対向車とのすれ違いが困難で後退を余儀なくされることで、交通事故の危険性が高くなり、バス運行の安全性確保が困難になると考えている。

**問**　今後はどのような計画を考えているか。

**答**　高齢化の進展に伴う新たな課題への対応やまちづくりとの連携など、様々な観点において調整を行い、公共施設連絡バス利用の利便性と安全性の向上に努めていく。


公職選挙法で市議会議員は寄附や年賀状を出すことが禁止されています。
禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。




市議会議員一同